

2023 年度事業報告書 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 Hope Tree

1 活動の目的

この法人は、がんの親をもつ子どもがより健康的に親ががんという状況に対処していく能力を高めるため、支援する医療者等の育成・指導を行い、あわせて親と子どもへの支援及び支援の重要性を広く普及啓発することで、がんの患者さんと家族がより不安少なく過ごせることに寄与することを目的とする。

対象者	事業活動 (アクティビティ)	活動の結果 (アウトプット)	活動の成果 (アウトカム)	社会の変化 (インパクト)
医療者	医療者等に対する育成及び指導	講座開催回数 講座受講者数 受講者の知識向上 受講者の意識変化	臨床現場での患者・家族への効果的な介入 サポートプログラムによる子どもの支援	がんの患者さんと家族がより不安少なく過ごせる社会の実現
がん患者とその家族	がんの患者・家族に対する支援	プログラム開催回数 プログラム参加者数 参加者の意識変化 (不安低減など)	病気・治療の知識習得 患者・家族 QOL 向上 家族間の良好な関係	
不特定多数の市民	普及啓発 情報発信	イベント参加者数 ウェブサイト訪問数 小冊子読者数 動画視聴者数等	がん患者やその子どもへの理解醸成・向上 教育現場や地域コミュニティ等での子どもへの関わり方の変化	

2 事業の成果

この数年の事業活動に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、開催を控えていたがんの親を持つ子ども向けプログラム CLIMB®(クライム)を再開し、医療関係者向け対面型プログラムでの受講人数制限も解除するなど、ほぼ通常の事業活動に戻った 1 年となった。

また、コロナ渦で開始したオンライン形式でのワークショップやセミナーも長距離移動が難しい全国の参加者からの強いニーズも受け引き続き開催。加えて、全国各地での各種学会発表等を通じ、より多くの医療関係者に対してチャイルド・ケアの必要性を訴え、そのための情報を提供する機会を確保した。

がん患者とそこご家族や医療機関など希望者へ郵送の小冊子は、「親ががんになったとき こどものために学校にできること」を新たに郵送対象に追加、4 種合計で約 7,200 冊を送付、前年度比 2 倍の実績となった。

各都道府県で作成のがんの療養に関する冊子(がんサポートブック等)では、12 道府県で Hope Tree の活動やウェブサイトを紹介いただく等、団体の活動やテーマの重要性に関する認知は着実に広がっている。

3 事業の概要

定款で定める事業	個別事業	対象者	状況	費用額
① 医療者等に対する育成及び指導に関する事業	CLIMB®(クライム)ファシリテーター養成講座	医療関係者	実施	1,639,722 円
	CLIMB®(クライム)親グループファシリテーター養成講座	(医師・看護師・心理職・	実施	
	子どもをもつがん患者を支える実践ワークショップ	ソーシャルワーカー・	実施	
	子どもをもつ終末期がん患者・家族への支援“バタフライ・プログラム”を学ぶ～ワークショップ	CLS・HPS等)	実施	
	Hope Tree セミナー		実施	
	Hope Tree オンラインカフェ		実施	
② がんの患者・家族に対する支援事業	CLIMB®(クライム)	がんの親とその配偶者、子ども	実施	375,963 円
	体験版 CLIMB®(クライム)		実施	
③ がんの患者とその子どもの支援に関する普及啓発事業	Hope Tree フォーラム	不特定多数の一般市民	実施	1,634,824 円
	ホームページや動画での情報発信		実施	
	小冊子による情報発信		実施	
④ その他この法人の目的を達成するために必要な事業	JAPAN CANCER SURVIVORS DAY2023 ブース出展	患者・患者支援者等	実施	157,550 円
	緩和医療学会 交流集会・発表	医療関係者	実施	
	日本死の臨床研究会 年次大会 セミナー	医療関係者	実施	
	東北広域次世代がんプロ養成講座 講演会	医療関係者	実施	
	日本グリーフ&ビリーブメント学会 学術大会でのポスター発表	医療・教育等関係者	実施	
(事業費合計)				3,808,059 円

個別事業の詳細(内容・日時・場所・従事者人員・対象者など)は次頁以降を参照ください。

プログラムや職種の略称用語は下記の通り。

CLIMB: *Children's Lives Include Moments of Bravery* (子どもはいざという時、勇気を示します)の略、アメリカで広く用いられている、がんの親を持つ子どものための構造化されたサポートグループのプログラム

CLS: *Child Life Specialist* の略、医療環境にある子どもや家族に心理社会的支援を提供する専門職

HPS: *Hospital Play Specialist* の略、遊びを用いて医療環境をチャイルドフレリーなものにし、病児や障害児が医療とのかかわり経験を肯定的に捉えるようにするため、小児医療チーム一員として働く専門職

4 各事業の活動詳細内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 医療者等に対する育成及び指導に関する事業

CLIMB®(クライム) ファシリテーター養成講座開催

内容	自施設で CLIMB®開催を希望する医療者を対象とした 2 日間ワークショップ。子どもの発達段階の理論を踏まえたプログラム(親のがんにまつわる気持ちを話し合いや工作を通して表出し、自分一人ではないと感じることで孤立感を軽減することを目指す)を学び、実際にグループで 6 回セッションを経験、自施設でも開催できるように養成する。		
日時	2023 年 6 月 10 日(土)10:30~17:00、11 日(日)9:30~15:30		
場所	東京・御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター		
対象者	医療者等 33 人	従事者人員	5 人

CLIMB®(クライム) 親グループファシリテーター養成講座開催

内容	CLIMB®親グループは、がんである親自身が、子どもと向き合うことができるようになることを目的としたプログラムである。親グループファシリテーター養成講座では、親に対してこのプログラムを自施設で開催できるよう養成する。 受講者は事前に教材学習と簡易テストを事前の上でオンライン講座を受講。		
日時	2023 年 11 月 3 日(金・祝)9:30~17:30 (10 月上旬より教材を事前送付し課題事前学習期間を設定)		
場所	オンライン(配信は AP 渋谷道玄坂より実施)		
対象者	医療者等 32 人	従事者人員	5 人

子どもをもつがん患者を支える実践ワークショップ開催

内容	このワークショップでは、未成年の子どもを持つがん患者への具体的な支援の在り方について学ぶ。親ががん患者である子どもを支えるためには、まず親である患者の支援から始まる。患者との信頼関係の築き方、家族全体のアセスメント、子どもの年齢や病期に応じた介入について、事例検討、アクティビティを交えながら学ぶ。		
日時	2023 年 5 月 27 日(土)9:00~17:00		
場所	オンライン(配信はステーションコンファレンス川崎より実施)		
対象者	医療者等 37 人	従事者人員	5 人

子どもをもつ終末期がん患者・家族への支援“バタフライ・プログラム”を学ぶ WS 開催

内容	親ががん患者で死別が避けられない子どもに対する教育プログラム。 子どもを持つがん終末期患者の心理(アセスメントとアプローチ)、家族の予期悲嘆、子どもの死の理解、子どもへの介入、医療者のグリーフなどロールプレイなどを通じて学ぶワークショップを開催。		
日時	2024年3月16日(土)10:30~17:00、17日(日):9:30~15:00		
場所	東京・御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター		
対象者	医療者等 42人	従事者人員	4人

Hope Tree セミナー開催

内容	NPO 法人 Hope Tree セミナー2023 「子どもの育ちとトラウマケア ～まわりの大人ができる心のケア～」を開催。児童精神科医 竹内伸先生(おかのうえ子ども心のクリニック)に思春期の子どもに対する理解、その対応を含めて講演いただいた。		
日時	2023年10月29日(日)9:30~12:00 (アーカイブ動画配信は2023年12月31日まで実施)		
場所	オンライン(配信は AP 渋谷道玄坂より実施)		
対象者	医療・教育・福祉関係者 123人	従事者人員	3人

Hope Tree オンラインカフェ開催

内容	未成年の子どもを持つがん患者、その子どもへの支援について、現場で奮闘している方々と、日頃の思いを語り合う場をオンライン形式で開催。臨床での困りごと、振り返りたいケース、チャイルドサポートに関する想いなど少人数でざっくばらんに話し合う。2回目は AYA Week2024 関連イベントとして開催。		
日時	(1回目)2023年12月10日(日)10:00~12:00 (2回目)2024年3月6日(水)20:00~21:00		
場所	オンライン		
対象者	医療者等 17人(2回合計)	従事者人員	5人

オンラインセミナー開催

内容	アステラス製薬との共催でオンラインセミナー「知ってほしい！子育て世代のがん患者とその子どものこと」を開催。AYA Week2024 関連イベントとして開催。		
日時	2024年3月9日(土)13:30~15:00		
場所	オンライン		
対象者	医療者等 約100人	従事者人員	4人

② がんの患者・家族に対するの支援事業

CLIMB®(クライム)開催

内容	がんの親をもつ子どもとその親に対する心のケアを目的とするプログラム。子ども同士で不安や悲しみ等の気持ちに対処する方法について、工作をしながら話し合う。並行して、親同士で治療や日常生活の不安、子どもとの向き合い方について話し合う機会を提供する。		
日時	2023年7月～8月(計6回)各回2時間程度		
場所	東京・目黒/中目黒スクエア		
対象者	4家族(子ども5人)	従事者人員	4人

※ 上記の Hope Tree 主催に加えて、各地域や医療機関での CLIMB®開催支援も随時実施、複数医療機関メンバーによる北海道での初開催(2024年3月)に1人が現地支援。

体験版 CLIMB®(クライム)開催

内容	がんの親をもつ子どもとその親(遺族も含む)に対し、体験版の CLIMB®(クライム)を開催する。		
日時	2023年12月16日(土)12:00～16:00		
場所	東京・目黒/中目黒スクエア		
対象者	6家族(子ども16人、保護者10人)	従事者人員	6人

③ がんの患者とその子どもの支援に関する普及啓発事業

Hope Tree フォーラム開催

内容	15周年記念フォーラム ～ 親が病気になったとき 子どもをどう支えるか ～ Hope Tree 活動開始から15周年を記念し、海外講師からの動画メッセージを含めこれまでの活動を振り返るとともに、静岡大学 教育学部教授 小林林朋子先生より「子どものレジリエンスを育てる」を、NPO 法人ふるすあるはより「精神障がいを抱えた親とその子どもを絵本を通して応援する」、一般社団法人キャンサーペアレンツより「がんになった親の立場から思うこと」をそれぞれ講演いただいた。		
日時	2023年8月12日(土)13:00～16:00		
場所	東京・御茶ノ水ソラシティ		
対象者	一般参加者、医療関係者 187人 (会場:41人、オンライン:146人)	従事者人員	7人

ホームページや動画配信による情報発信

内容	<p>あらゆる人を対象としたウェブサイトの運営。患者自身が読み、治療しながら子育てをするのに参考となる情報や広く社会に対する普及啓発の内容を含む。</p> <p>2023年度はノバルティスファーマ社と許諾契約を締結し下記2動画を追加公開。 ・「大切な人と分かれる子どもの悲しみの理解と支援～終末期がん患者・家族を支える～」 (サウスカロライナ大学看護学部教授 スー・ハイニー氏) ・「子どもが大切な人と別れる時 私たちにできること～終末期がん患者・家族を支える～」 (MD アンダーソンがんセンター チャイルド・ライフ・スペシャリスト マーサ・アッシュンブレナー氏) ※ 所属は動画撮影当時</p>		
日時	随時		
場所	全国		
対象者	不特定多数（医療関係者、患者・患者家族・支援団体など） HP 訪問者数:56,630人 ページビュー数:174,338回 動画視聴回数:7,773回 ※数値はすべて2023年度(1年間)の累計数	従事者人員	3人

小冊子による情報発信

内容	<p>4種の小冊子「子どもとがんについて話してみませんか」「がん患者の家族を支える 親が病気の子どもたちの思い」「やさしいがんのお話」「親ががんになったとき 子どものために学校にできること」を希望者へ発送。</p> <p>2023年度は計478先(内訳 医療機関:268法人、支援団体:48団体、個人:162人)へ合計7,162冊の小冊子を発送。送料はHope Tree負担。</p> <p>① 「子どもとがんについて話してみませんか」 郵送冊子数:2,390部、PDFダウンロード数:1,605回 ② 「親が病気の子どもたちの思い」 郵送冊子数:1,614部、PDFダウンロード数:831回 ③ 「やさしいがんのお話」 郵送冊子数:2,194部(PDF版は提供なし) ④ 「親ががんになったとき こどものために学校にできること」(2023年9月より) 郵送冊子数:964部、PDFダウンロード数:377回 ※数値はすべて2023年度(1年間)の累計数</p>		
日時	随時(希望者へは1週間以内を目途に郵送)		
場所	全国		
対象者	不特定多数（医療関係者、患者・患者家族・支援団体など）	従事者人員	4人

④ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

『JAPAN CANCER SURVIVORS DAY2023』ブース出展

内容	がん患者・ご家族が必要な支援へたどり着けるように、日本各地でがん患者・ご家族支援を行っている社会的に重要な役割を果たす患者会や支援団体を広く紹介し、情報を提供するイベント『JAPAN CANCER SURVIVORS DAY2023』(主催:公益財団法人 日本対がん協会 がんサバイバー・クラブ)にてブース出展をした。		
日時	2023年6月4日(日)11:00～15:30		
場所	東京・築地/国立がん研究センター 築地キャンパス 研究棟		
対象者	患者・患者家族・支援者等多数(来場 389人)	従事者人員	3人

日本緩和医療学会 学術大会での交流集会開催

内容	第28回日本緩和医療学会学術大会にて「終末期の家族支援 ～親を亡くす子どもに対して私たちは何ができるのだろう ～ Part2」をテーマに交流集会を開催した。(前年度に続き2年連続での開催)		
日時	2023年7月1日(土)9:15～10:15		
場所	兵庫・神戸/神戸国際会議場・神戸国際展示場		
対象者	医療関係者等 90人	従事者人員	4人

日本死の臨床研究会 年次大会でのセミナー開催

内容	第44回日本死の臨床研究会 年次大会にて「親を亡くす子どもに寄り添う～子どもに死の理解を促す小冊子、アクティビティの紹介～」をテーマにセミナーを開催した。(座長:的場元広先生)		
日時	2023年11月25日(土)14:10～15:20		
場所	愛媛・松山/愛媛県県民文化会館		
対象者	医療者関係者等 80人	従事者人員	2人

東北広域次世代がんプロ養成講座 秋田大会講演会での講演

内容	東北広域次世代がんプロ養成講座の一環で「子育て中のがん患者とその子どもを支える」をテーマに講演を実施した。		
日時	2024年2月3日(土)13:30～16:00		
場所	秋田/ANAクラウンプラザホテル秋田		
対象者	医療関係者・医療系学生・教育・福祉関係者 81人	従事者人員	2人

日本グリーフ&ビリーブメント学会 学術大会でのポスター発表

内容	第6回日本グリーフ&ビリーブメント学会学術大会にて「親(がん終末期)との死別が避けられない子どもへの支援バタフライ・プログラムの紹介」をテーマにポスター発表を実施した。		
日時	2024年3月2日(土) 9:00~17:40、3日(日)9:00~16:00		
場所	京都・伏見/龍谷大学深草キャンパス		
対象者	医療・教育・宗教・NPO 関係者等 多数	従事者人員	1人

以上